



# ちゅうりっぷ組だより 6月号

平成30年6月20日 ことり保育園 担当 団野



梅雨の季節となりましたが、出来るだけ、戸外に出るようにしています。あるとき、なぜか沢がニが道路を歩いていたので、それを伝えると、ベビーカーから身を乗り出すようにして見つめていました。園の近くを散歩することが多いですが、驚きや発見がいっぱいです。

室内では、探索活動が盛んで、ハイハイや伝い歩き、月齢の小さい子は寝返りを繰り返しながら広い範囲を移動していて驚かされます。扉が開くとすぐにそこへ進み、出て行こうとするのですが、必ず後ろを振り向いて、「出ちゃうよ。いいの?」と保育者に目で確かめる姿も微笑ましいです。

また、大きいお友だちが、保育室の前を通る際に、いつも「○○ちゃん」「かわいいね」「笑ってる」などと声を掛けています。そんなことばを聞いて、「あっあっ」「ぽっぽっ」を喃語で応え、嬉しそうな子ども達。みんなに愛されていると感じることは、心の成長にとっても良いことだと思います。

これからも、保育者や子ども達と、  
触れ合う時間を大切にして、  
のびのびと過ごせるように  
していきます。

